



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.143



## 10月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2023年10月2日

## 70周年記念事業 @ 3/4

副会長 大内 政男

国際観光施設協会70周年記念事業については様々な機会を通してお伝えしてきました。イベントとして4回の記念講演会と交歓会を企画しましたが、3回目が去る9月5日に大手町の「3×3Lab Future」で開催され盛会の内に終了しました。1回目、2回目も盛会でここまでのイベントは100名を悠に超える方々に参加いただきました。引き続き岐阜県との共催イベントと最終第4回の講演会と交歓会を予定していますが、まずは参加いただいた方々、イベントを企画いただいた方々、また、部会/委員会/分科会の代表として活動いただいている70周年記念事業委員会のメンバーに御礼を申し上げます。

この記念事業については委員会方式で検討を進めてきました。第1回目の委員会は2022年2月に、以降毎月開催しています。一緒に旅行する、クルーズ船をチャーターして東京湾を巡る等々様々な案が検討されましたが、一回だけのイベントではなく、一年を通して複数のイベントを共通のテーマで行う事で議論が収束し、協会の部会/委員会/分科会を大きく3つのグループに分けて各グループで講演会と交歓会を企画するという事になりました。共通テーマはこれも委員会の中で時間を割いて議論しましたが「日本を伝える」としました。日本の観光交流空間の魅力、都市や自然、伝統や文化、優れた技術など

当協会がこれまでにやってきた調査、研究などの活動を更に推し進め、コロナ後の新しい視点で再認識し、これを広く世の中に伝えるという協会の活動を宣言したものと考えています。

さらにこの共通テーマを3つのホスピタリティ「人と物、人と社会、人と自然へのホスピタリティ」という切り口でそれぞれの講演会を企画いただき、結果、各回の講演会はそれぞれ違った分野、傾向の講演となり、多様な協会活動を映し出す内容となりました。

又、記念事業の具体的な形として「日本を伝えるマップ」が発表されました。このツールは協会の活動地点とその内容を記してマップ上に継続的に反映させることで、こんな場所にこんな魅力がある、この旅館も省エネの活動に参加している等々、情報発信機能と合わせて当協会の活動のアーカイブとして価値のあるツールになると考えています。10年後の80周年に10年間のデータを保存し、一斉更新するというようなことも考えられます。このツールは大事に育てて行く事で、当協会の貴重な財産になると考えています。

記念事業も3/4を通過し、あと一回の講演会と交歓会です。大勢の方々の参加をお待ちしています。

## 技術委員会の活動状況とこれからの予定

技術委員会 委員長 野出木貴夫

今年5月のコロナ5類への引き下げに伴い、各技術委員会の活動も活発になってきました。WEB会議のいいところは継続的に残しつつ、積極的に外部に出かけ調査・交流などが盛んになってきたところです。また今年協会の創立70周年の記念イベントが目白押しです。これも合わせりコロナ前以上に活発です。皆さんへのご期待です。

【ホテル都市分科会】 木づかい活動では木造・木質化建築の見学会を4回開催しました。維持管理、木質化率のバランスなどそれぞれ特異な視点で企画し多くの参加者を得ました。また記念事業のサブイベントとして10月に岐阜県にて協会より木づかいの話題提供を行い、翌日には伐採と植樹の記念式典を行います。一方新UD客室研究は前回発表したプロトタイプ客室を3D化し、より一層訴求力を高め次回ホテル展に発表の予定です。

【観光交流空間のまちづくり研究会】 今年度当研究会では、まちづくりの事例と富裕層観光の状況について研究を行うことを二つの柱として活動を行っています。まちづくりについては観光庁が推進している

「第2のふるさとづくりプロジェクト」担当の観光庁の濱渦氏と、実際に採択されて進んでいる南魚沼の方にクロストークで講演頂き、併せて実際に魚沼に伺う予定をしています。また、富裕層観光についてはついで、JNTOの渡部氏にインバウンドの状況とJNTOの戦略について講演いただきます。

【旅館観光地分科会】 テクノロジーによる宿泊施設のコンシェルジュ化を掲げて活動開始した「町じゅう旅館・町じゅうホテル」の座組を進化/深化させ、分科会内に「スマートシティ研究会」を立ち上げ、プロジェクトを「LINKED CITY」と名付けて活動を行っています。自治体、観光関連団体、地域DMOとの協業を積極的に模索し、先日は沖縄ITイノベーション戦略センターと連携協定を結びました。今後さらに活動の場を全国に移し、地域創生をキーワードにプロジェクトを進めていきます。

【エコ・小委員会】 「松本市乗鞍地域宿泊施設温暖化対策設備導入支援事業」の業務委託を受け脱炭素先行地域に選定された乗鞍地域でCO2排出量削減のガイダンスと調査を行いCO2排出削減効果を高める設備の導入に向け活動します。また「脱炭素チャレンジカップ」で宿泊施設の脱炭素化でエントリーします。そして宿泊業界とタッグを組み、宿泊業のCO2排出量の基準作りからカーボンニュートラルへの道筋造りを環境省に働きかけようとしています。

【インテリア分科会】 インテリア分科会では調査会としては初めての試みとしてライブ調査会を行いました。分科会のコンセプト「日本の技と極みそして次世代への伝達」として地方や地域の伝統文化・職人の技術を採り、技術産業の担い手と設計者を結ぶ道筋・窓口をつくり、それらを次世代につなげていこうと思います。また2023年からのテーマである「デザイン温故知新」として今回は京都の川島織物文化館を訪ね、現地ライブ配信調査会としました。ライブ配信の問題点を解決しながら、これからも地方にある日本の技を伝えていければと思います。

【耐震研究会】 ホテル・旅館の耐震改修の促進について研究を進めています。耐震化の助成金制度の調査のほか、SDGsへの取り組み、BCP(事業継続性計画)の推進のほか、地震災害後の迅速な復旧を目的とした、建物のセンシング・モニタリングの研究も行っております。今年度は、耐震改修済みのホテルの集計も実施しており、2月の展示会で発表を行う予定です。

## 建築部会の活動状況とこれからの予定

建築部会長 崎山 茂

前回2月の報告ではコロナ禍の終息を受けて昨年11月に水上セミナーを復活させたことを報告しました。その後、70周年記念事業が続く合間の8月1日には久方ぶりの施設見学会をウェスティンホテル横浜にて開催し、当日は荒天にも拘わらず多くの方に参加いただき好評を得ました。これからも幾つか新しい見学先候補がありますので良い企画を練っていきたいと思います。また、再開した水上セミナーはあらためて気候の良い時期に千代田区や江東区の内陸河川巡りとして開催したいと考えています。湾岸エリアの変化は前回ご覧戴きましたが、内陸部、特に千代田区は河川周辺の再開発も多く、景色は変わりつつあります。お楽しみに。

## 設備部会の活動状況とこれからの予定

設備部会長 藤野 健治

設備部会では、これまでに計3回の幹事会を開催し、「セミナー・見学会を通しての情報提供」と「設備部会全体交流会の開催」について検討してきました。7月7日には、創立70周年記念事業の一環として、旅行観光地分科会、エコ・小委員会、耐震研究会と共同で、ポストコロナの「新しく生まれてくる観光のあり方」について、観光業界の課題ともいえる『食』・『SDGs』・『経済』の視点から各分野の講師の方々に示唆をいただくセミナーを開催し、100名を超える方に参加いただくとともに、セミナー終了後には講師を囲んで交流会を開催しました。また、設備

部会全体交流会については、12月12日に開催する予定で実現に向けた打合せを進めています。活動状況につきましては、今後も掲載等を利用して皆様に情報発信して行きたいと思っております。

## インテリア部会の活動状況とこれからの予定

インテリア部会長 寺本 昌志

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類相当」から「5類感染症」となり、個人の選択が尊重され、国民の自主的な取組をベースとした対応に変わりました。これにより部会活動も感染リスクを回避しつつ積極的に行うよう方針を変更致しました。

また、今年度協会は70周年を迎える年にあたり、その記念行事を年度内に数回行う事となった為、幹事会にて部会運営の在り方について協議しました。その結果、協会行事を優先し部内の活動は控え、記念事業で当部会担当のセミナー実施に集中する事に致しました。

担当の記念セミナーは8月25日ワテラスコモンにて行われ、ホテルオークラの梅原社長、キモノデザイナー齊藤上太郎氏のお二人に登壇頂き、全体テーマ「日本を伝える」に合わせ、「日本の美」について「伝統と確信」「伝統の進化」というテーマでお話頂きました。参加人数は160名を超え、盛会裡に終わりました。セミナー終了後、これまでの活動で伝えてきた「観光交流空間の魅力」を、70周年を機に「日本を伝えるマップ」として今後web上で纏めていく製作発表も行いました。



今後は来年の活動に向け、各グループにおいてセミナーや見学会の実施計画を立て、より良い交流が持てるよう図っていきたいと思っております。

## 国際ホテル・レストラン・ショーのお知らせ

ホテルズ実行委員会 委員長 浅野 一行

第52回 国際ホテル・レストラン・ショーは、令和6年2月13日(火)～16日(金)、東京ビッグサイト・東展示棟にて開催されます。観光宿泊業が、コロナによる長い不振から復活をかけて取り組む時勢、当協会は今年度も主催者団体の1つとして協会ブースの出展を行い、ホスピタリティデザインセミナーを主催します。

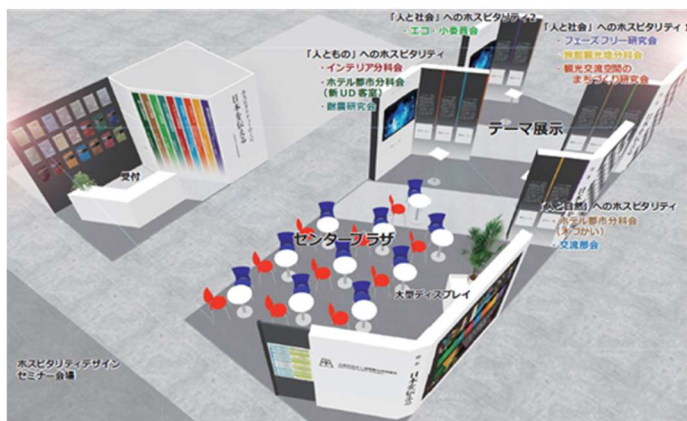
さて、今年は協会創立70周年で、年間を通じて各種イベントが開かれています。既に4つのイベントのうち3つが終了していますが、いずれも盛況で、活力にあふれた当協会の勢いを改めて感じていただけたことと思います。

今回のホテルズショーでは、70周年記念事業を包括的にご報告します。協会ブースは、継続テーマ「ホスピタリティのくに 日本を伝える」を掲げ、ホスピタリティに育まれた我々の歴史・文化を再認識した上で上手に伝えることの大切さを通じて、協会活動を社会にアピールします。既に会員の皆様には、お手元に「協会ブースへの参加申し込みのお願い」(参加申込書)が届いていると思います。

参加形式は例年通り、

- ① テーマ展示参加 (8万円)
- ② QRコード付ポスター参加 (4万円)
- ③ CSV 社名参加 (2万円) の3種類です。

全会員企業の参加を目指す CSV 活動の主旨をご理解の上、必ず3つの何れかにお申込みいただきますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。



協会ブースプラン

## 11/27 創立70周年記念講演会/交歓会 '23年忘年交歓会のお知らせ

70周年記念事業委員会 委員長 大内 政男

国際観光施設協会70周年記念事業の講演会/交歓会は盛会の内に第3回までが無事に終了し、残すところは最終の講演会/記念交歓会となりました。最終講演会には日本の建築界をリードする組織設計事務所、「梓設計」「久米設計」「日建設計」「日本設計」4社のトップの方々を講師として迎え、「日本を伝える・都市と建築を語る」と題して日本の都市と建築の魅力をお話しいたします。協会が提唱する三つのホスピタリティ「人と物、人と社会、人と自然へのホスピタリティ」が設計というプロセスの中で、都市や建築空間にどのように練り込まれ実現していくのか、様々な視点からお話が伺えると思います。

講演会終了後には例年12月に行う忘年交歓会と合わせて、協会創立70周年記念交歓会を開催します。開催場所は神田錦町の「学士会館」で、この旧館は1928年、新館は1937年に完成し国の有形文化財に指定されています。

再開発の計画が進められ建物は保存されると聞いていますが、始まると暫くは見る事が出来なくなると思います。記念講演会は旧館で、記念交歓会/忘年交歓会は新館で開催します。その建物やインテリアも一見の価値があります。

講演会の講師の方々もこの記念交歓会に出席予定です。講師を交え、会員相互の交流を深め、創立70周年を大いに祝う会にしたいと考えています。多くの方々の参加をお待ちしています。

## 第116回国際観光施設協会ゴルフ会の予告

国際観光施設協会の春のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

日時：令和5年11月9日(木)  
コース：姉ヶ崎カントリー倶楽部  
プレイ費：約22,020円  
(キャディ付・パーティ付、昼食付)各自精算  
会費：5,000円  
(協会創立70周年記念品代含む)

コンペ終了後は表彰式と懇親会、賞品も多数用意しております。会員の皆様の親睦の場として、お誘いあわせのうえ、多くの参加をお待ちしております。

## ♥編集後記♥

創立70周年を迎えるにあたり、「日本を伝える」をテーマに進めてまいりました記念事業も大盛況にして順調に進み、来月27日に開催されます記念講演会及び記念交歓会を残すのみとなりました。

これまで積み上げてまいりました70年の実績を讃えつつ、この記念すべき機会を全員参加で大いに祝福したいと存じます。

Y. K